

- ・合計特殊出生率
- ・期間合計特殊出生率

ある期間の15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその期間の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当します。なお、人口動態統計年報では日本における日本人を集計対象としていることから、出生数は日本人女性の出生数と外国籍女性の生んだ日本国籍児、女性人口は日本人女性人口を用いて算出しています。

$$\text{合計特殊出生率} = \frac{15\sim19\text{歳の母の出生数}}{15\sim19\text{歳の女性人口}} \times 5 + \frac{20\sim24\text{歳の母の出生数}}{20\sim24\text{歳の女性人口}} \times 5 + \cdots + \frac{45\sim49\text{歳の母の出生数}}{45\sim49\text{歳の女性人口}} \times 5$$

(国のは、年齢別出生率の和であるが、ここでは5歳階級別出生率を用いているため、各年齢階級の出生率を5倍したものの和である。)

データ単位 : 市区町村 保健所

(注) 実際に1人の女性が一生の間に生む子どもの数は、コホート合計特殊出生率といいます。